



ウェルビーイングな日々

no 11

- 世界各地の駅・空港や街角で、利用者がそこに置かれたピアノを自由に弾く、いわゆる「ストリートピアノ」。その様子を定点カメラで撮った15分間の短いテレビ番組があります。
- クラシックの名曲、よく知られている映画音楽、母国の童謡、日本のアニメソング（根強い人気です）などが演奏されています。演奏者は、プロの音楽家、小さい頃からピアノを習っている人、定年後に独学で始めた人、YouTubeで聞いた曲を自分で音を探りながら何年もかけて弾けるようになった人、そのピアノで練習した人。通勤・通学、旅行者・移民、療養中・就活中の方。幼児から80代、親子や友人で連弾するなど、実に様々です。周りには自然と人が集まり、一緒に体を動かしたり、歌ったりする人もいます。もちろん、演奏後に拍手もあります。様々な背景をもつ人々が実際に楽しそうに、情熱的に、そして淡々とそれぞれの思いで弾く姿がグッとアップで映し出されます。心からピアノを楽しんでいる姿です。
- 演奏中に字幕で紹介されるご本人のこれまでの歩みや、演奏後に語られるピアノ演奏、音楽、そして人生への想いに、深く共感したり、感銘を受けたり、ほのぼのとした気持ちになったりします。
- 共通して言えるのは、演奏後の表情は、どの方も自信と満足感にあふれた笑顔だということです。今までの楽しかった日々を思い出しながらの笑顔。また、人生を嘆いたり、孤独に震えたり、ため息をついたりした日々を送ったかもしれないけれど、そんなことは微塵にも感じさせない笑顔。その笑顔は、「これだ」と打ち込むことができる「何か」を見つけることができた強みからのものでしょうか。「これだ」は趣味でも、仕事でも、人が興味をもたない研究テーマでも、スポーツでも、推しでもよいと思います。できれば、誰もが「これだ」に巡り合えたら、こんなに良いことはないですね♪ 生活の支えになるかもしれません。そして、それに巡り合える機会は、経験・経歴・年齢には関係なく、平等にあるはずです。
- 神戸市内での様子の放映がありました。神戸市は、笑顔と音楽があふれる街づくりを目指し、市内に30台のストリートピアノを置いているそうです。♪

